

## 令和 6（2024）年度沖縄国際大学 FD 支援プログラム指定プロジェクト 「外国語科目群におけるルーブリック作成と検証」

### テーマ設定の背景

ルーブリックの活用は、科目の成績評価における客観性や公平性を保つのみならず、学生への事前提示やフィードバックを通じた学修者本位の学びにつながる面でも有効であるとされている。しかし、本学では、同一名称の科目が複数開講され、これを複数の教員が担当する場合であっても、成績評価等については、統一的なルーブリックは作成されておらず、各担当教員に委ねられている状況であった。これを踏まえて、昨年度（令和 5 年度）の指定プロジェクトにおいては、特定学科の協力を得て、初年次対象のゼミ科目を事例としてルーブリックの作成と検証を試み、その成果として、幾つかの課題も報告されている。

そこで、今年度（令和 6 年度）は、昨年度の指定プロジェクトにおいて指摘された課題等を踏まえて発出された副学長諮問を受けて、同一レベルのクラスが複数開講される共通科目の外国語科目群（英語・韓国語・スペイン語・中国語・ドイツ語・フランス語）を対象に、成績評価におけるクラス間の基準の明確化・均等化を図り、レベルごとの到達基準を設定して受講生がより高い水準のクラスに進む際の統一した評価方法を確立することを目指した。そのためにまず、クラス担当の各教員が認識している成績評価におけるグレードの統一化、および教員と学生がともに共通認識を持つことができる成績評価の在り方を検討し、外国語科目群におけるルーブリックの作成と検証を試みた。

### 指定プロジェクトの成果や課題について

5 回のプロジェクトミーティングを経て、共通ルーブリック（案）「韓国語・スペイン語・中国語・ドイツ語・フランス語の科目における共通の到達目標」を作成した。

URL：<https://www.okiu.ac.jp/academic/page-830>

今回作成した 5 言語における到達目標のディスクリプター（説明文）に関しては、それぞれの言語と日本語の言語間距離を考慮し、各言語において共通性を見出せる大枠のものに限定した。そのため、成績評価にも活用できる、より詳細な到達目標については、講義の内容に合わせて言語ごとに新たに設定してもらうことを想定している。

英語については、英語のみ入学時にプレイスメントテストを実施していること、講義クラスにおける 4 技能の取り扱いが他言語と異なること、また学科によってその到達度が大きく異なること等の現状を踏まえ、今回の共通ルーブリック（案）には含めないこととし

た。

今後はこの共通ルーブリック（案）や各言語科目で作成されるルーブリックについて、継続的に機能と有効性を検証・改善する必要がある。さらに、本プロジェクトを通して浮かび上がった課題の解決に向けて取り組むことで、教学マネジメントのPDCAサイクルを回すことにつながると考えられる。